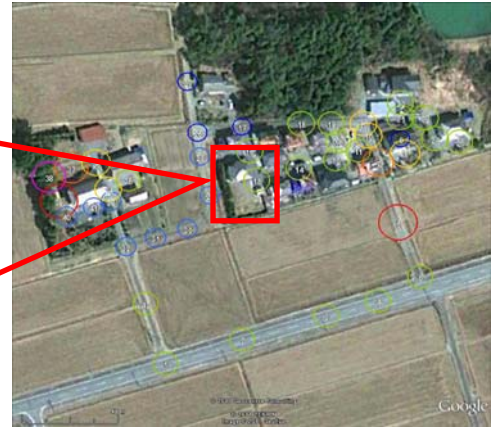


大熊町一時立入時放射線モニタリング結果(きなやん宅)

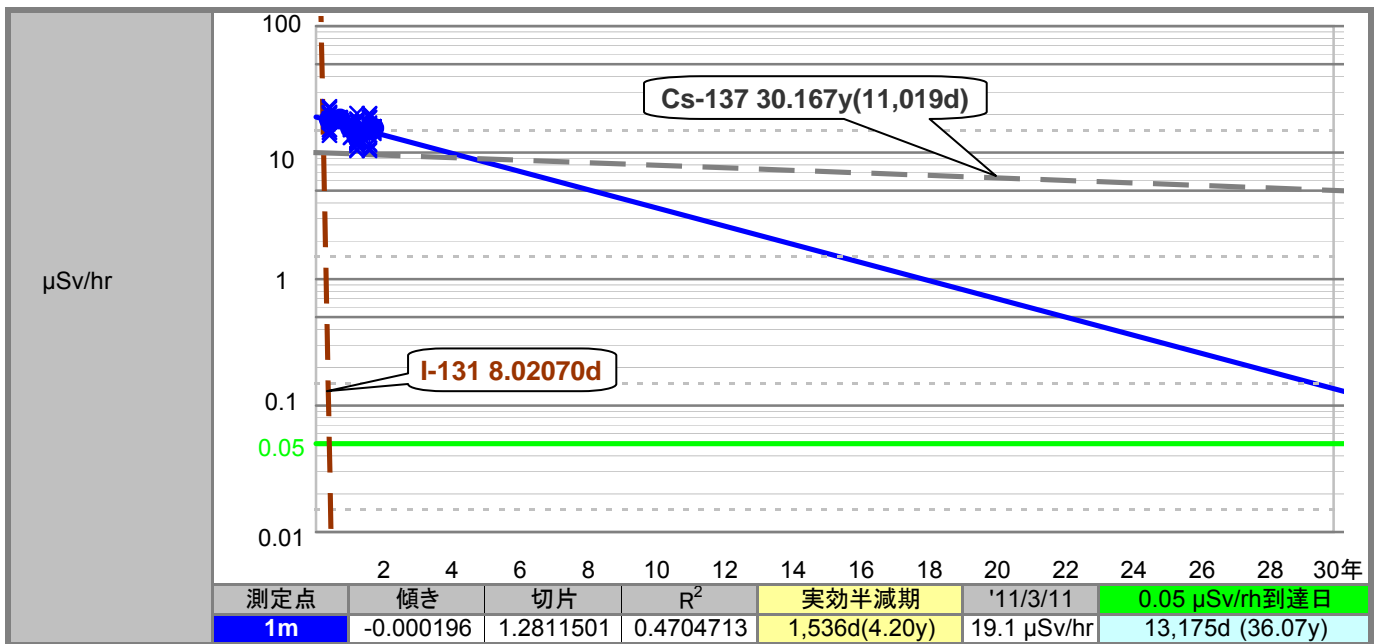
測定日 : 平成24年11月23日(金)
 測定時間 : 9:50~12:10
 測定器 : ATOMTEC AT6130C

測定点 : 地上1.0m高さ
 測定者 : (東大和久)きなやん・坂さん
 被ばく線量 : - μ Sv(借用APD)

9:30 : 毛萱スクリーニング場
 : 受付免許証/許可書確認
 防護装備着用、APD/トランシーバー借用
 9:40 : 出発
 9:50 : 一次立入開始
 12:10 : 一次立入終了
 13:30 : スクリーニングサーベイ
 >13kcpm 拭き取り除染を実施
 人・物とも<13kcpm で搬出・持ち出し可
 13:40 : 終了



1年前(2011年11月26日の一時立入時)の線量率の幾何標準偏差(1.03)と、同じような幾何標準偏差(1.04)となりました。
 セイタカアワダチソウは植物ですから茎や葉は水分のかたまりです。その水分が遮蔽材としての効果を果たしているのでしょうか？
 風に揺れたり一方向に倒れたりすると、茎の集まりにムラができ、春から夏にかけての線量率にバラツキができる。冬には枯れて水分が抜け遮蔽効果が無くなりバラツキも無くなる。そのような事が考えられる測定結果です。



Cs-134の半減期は2.0648y(754.19d)、Cs-137の半減期は30.167y(11,019d)です。実効半減期は、この2つの物理的半減期と雨風除染等によって減少する環境的半減期によって決定します。Cs-134が減衰するとCs-137が残り、実効半減期も大きくなると予想されます。

----- Cs-137の減衰直線です。ただし、存在量が不明ですので、30.167年という時の長さだけを感じて下さい。

----- I-131の減衰直線です。存在量が不明ですので、3月15日午前9時00分正門付近の11,930 μ Sv/hrとしました。